

# 重要な体験を報告

派遣事業と広島平和記念式典派遣事業がそれぞれ行われ、8日、広島派遣事業は8月5日から7日の2泊3日の研修で参加者たちによる報告会が開催され約70名ほどの町民



追分公民館で行われた出発式(8月5日)



語り部の塩治さんの話しを聞く

## 核兵器廃絶を目指し、平和な町を宣言

「全世界から1日も早く核を廃絶し、平和で安全な世界をつくろう」という町民の思いを受け、今年6月の町議会で「核兵器廃絶平和の町」を宣言しました。



平和の鐘を鳴らす

旧早来町でも、平成8年6月に町議会議員からの提案で「核兵器廃絶平和の町」を宣言しています。

今年で21回目を迎えた広島派遣事業は、戦争の悲惨さを肌で感じ平和について考えることと、将来の安全と平和を推進するリーダー的人材の育成を目的に取り組みました。

## 小中学生5名を派遣

事業に参加した小学生3名と中学生2名は「広島市に町民の願いを届け、見て、聞いて、感じたことを



案内役の平原享志さん(写真右)

町民の皆さんに伝え広め、本当の意味の平和を考える」という使命を持ち8月6日の式典に参列。原爆で亡くなった人々を追悼し、「核兵器の廃絶」や「世界の平和」を願いながら、「真実を伝え・それを広め、一緒に考えることの大切さ」を学びました。

## 学んだことを多くの人に

広島市で自身の被爆体験を聞かせてくれた塩治節子さんや被爆教職員



灯ろう流しに参加

の会で被爆二世の平原享志さんから当時のようすについて詳しい説明を受けました。

研修中、語り部の方は安平町から重要な使命を持って訪れた小中学生を「平和大使」と敬意を持って温かく迎えていただき、短い時間でしたが、2泊3日の中で学んだことを今後多くの皆さんに伝えてくれることを期待しています。



三好絵梨香さん  
(早来小6年)



仲治 茜さん  
(追分中2年)



永桶里佳さん  
(早来中2年)



浅沼 駿君  
(安平小6年)



島 溪太君  
(追分小6年)